

筑波大学ヒューマンバイオロジー学位プログラムは博士課程教育リーディングプログラムとして2011年度より発足した5年一環の博士課程プログラムです。ヒトが人らしく生きる社会の創造を先導できる国際的トップリーダー養成を目的としこれまでの大学院教育のイメージを超えた革新的で新しい試みが多数行われています。本プログラムの今をお伝えする HBP ニュースレター、プログラムのリアルな姿や履修生たちの様子をお伝えします。

ヴェトナム訪問記 in aug 2012

適正技術教育の授業の一環として、プログラム履修生の竹村彩さんは5日間にわたりヴェトナムを訪問しました。今回は視察、インタビューを通してヴェトナムの現状を把握、国や地域が抱えている問題点に直に触れました。今後、見つけ出した問題点について解決策となるプロダクトのアイデアを出し合い、形にしていくことを目的としています。

ヴェトナム訪問行程

8/13

- Cho Ray Hospital
- Institute of Tropical Biology

8/14

- Ho Chi Minh City Biotech Center
- Pasteur institute

8/15

- Urban area in HCMC
- Binh Chanh District

8/16

- HCMC or Ben Tre Province in Mekong Delta
- The center of health information and education of Ben Tre House in countryside

8/17

- Independent Palace
- War museum in HCMC



Biotechnology center, 農業廃棄物であるコーヒー豆の皮を利用した肥料は他の発展途上国の場合にも参考になりそうです。



Cho Ray Hospital です。病院の外まで人々があふれかえっています。



Ben Tre での民家の様子、井戸水を飲料水として使用しています。



～竹村さんからヒトコト～

一見すると先進国なのではと思うほど発展しているように見えるのですが、井戸水や雨水を飲んでいたり、ものすごい交通量の道路を歩行者がバイクや車をかわしながら渡っていたり、病院はものすごく混んでいて1日待つのが普通、地方のクリニックでは診断のみで治療ができなかったり、道路が砂だらけな上にゴミがいっぱい落ちていたり。。急速にグローバル化が進み世界が一つになりつつあると言われる中で、同時に課題が山積みになっていることを体感しました。

第2回 HBP Initiation Seminarの様子

2012年9月7～8日、9月入学の新入生を迎えて第2回 HBP イニシエーションセミナーが行われました。HBP イニシエーションセミナーは、プログラムの人材養成の目的、カリキュラムの内容について学び、履修生同士が交流を深める場であるとともに、多彩な人材輩出を目指す趣旨のもと、国際社会で活躍している教育研究者、行政官、企業で活躍する経営者・研究者などの講演を聴き、課程修了後のキャリアパスの多様性を理解する機会です。将来の職業選択と今後の学修計画について話し合い、真剣に将来を見据えた上で今後の学修目標と計画を立てました。

長く感じる5年間ですが、
将来に向き合って目標から逆算すると
あっという間。。



国際色豊かな新入生たち。
グローバルな環境です。



プログラムの方向性や今後のあり方など、
教員や学生の垣根を越えて話し合う機会でした。